

# Nikon

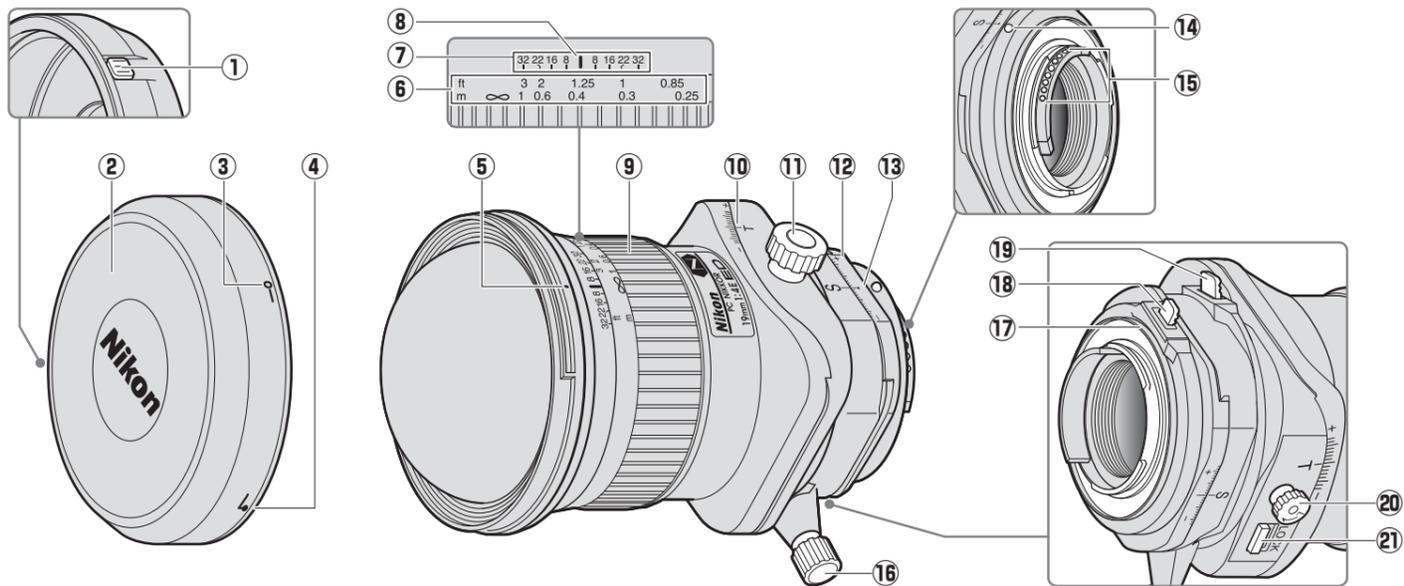
# NIKKOR

## PC NIKKOR 19mm f/4E ED

**日本語** 使用説明書

Printed in Japan  
SB6E01(10)  
7MA03310-01

NIKON CORPORATION



### ■ 各部の名称

- ① ロック解除ボタン
- ② レンズキャップ
- ③ レンズキャップセット指標
- ④ レンズキャップ取り付け指標
- ⑤ レンズキャップ着脱指標
- ⑥ 距離目盛
- ⑦ 被写界深度目盛
- ⑧ 距離目盛基準線
- ⑨ フォーカスリング
- ⑩ ティルト目盛
- ⑪ ティルトノブ
- ⑫ シフト目盛
- ⑬ レボルピング指標
- ⑭ レンズ着脱指標
- ⑮ CPU 信号接点
- ⑯ シフトノブ
- ⑰ レンズマウントゴムリング
- ⑱ レボルピングレバー
- ⑲ PC レボルピングレバー
- ⑳ ティルトロックノブ
- ㉑ ティルトロックスイッチ

ご使用前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの使用説明書もご覧ください。

・このレンズは、デジタル一眼レフカメラの D2 シリーズ、D1 シリーズ、D200、D100、D90、D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズ、D3000、およびフィルム一眼レフカメラには対応していません。

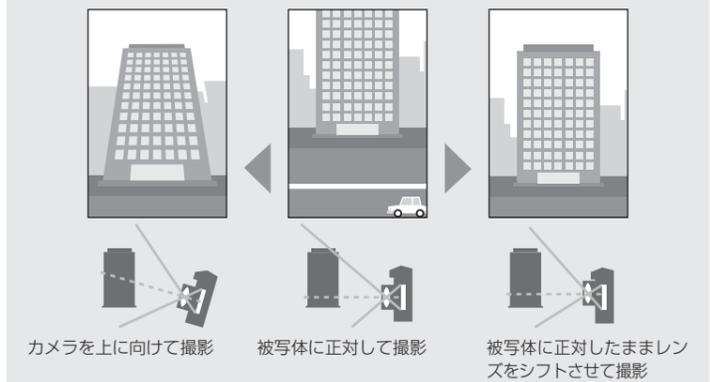
・このレンズは、マニュアルフォーカス専用です。オートフォーカスは、使用できません。なお、カメラ側のフォーカスモードは、いずれの設定でもマニュアルフォーカスができます。

### ■ このレンズについて

- このレンズでは、シフトおよびティルト機能を使った「アオリ撮影」ができます。
- アオリ撮影は、レンズの光軸を操作することによって、カメラアングルによる主要被写体の歪みを補正したり、奥行きのある主要な被写体の手前から奥まで全体にピントを合わせる撮影方法です。

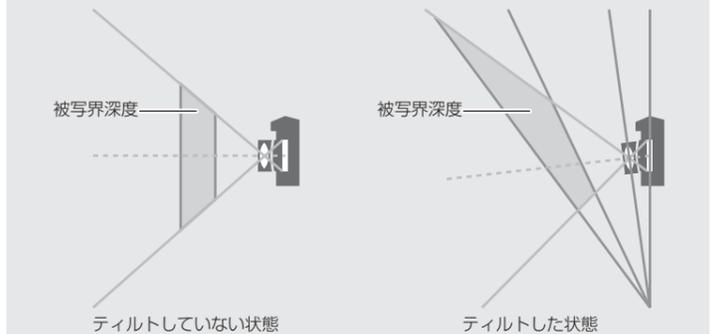
### ■ シフトとは

レンズの光軸を撮像面の中心からずらして、イメージサークルの任意の位置でフレーミングすることを「シフト」といいます。シフト機能を使うと、建築物をローアングルで撮影したときなどに生じる遠近感による像の歪みを補正したり、カメラの位置や向きを変えずに構図を変えることができます。



### ■ ティルトとは

撮像面に対して垂直に交差するレンズの光軸を意図的に傾けて、ピントの合う範囲を操作することを「ティルト」といいます。ティルト機能を使うと、極端に絞り込むことなく被写体全体にピントを合わせたり、被写界深度を浅くして被写体以外をぼかすことができます。



※ イラストはイメージです。

### ■ 安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

- 警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
- 注意** 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。

- ⊘ は、してはいけない内容です。
- ❗ は、実行しなければならない内容です。

### ⚠ 警告

- 分解禁止** 分解、修理または改造をしない  
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない  
感電やけがの原因になります。
- 実行** 熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちにカメラの電源を取り外す  
放置すると、発火、やけどの原因になります。
- 禁止** 水でぬらさない ぬれた手で触らない  
感電や発火の原因になります。
- 禁止** 引火、爆発のおそれのある場所では使わない  
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。
- 禁止** レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ない  
失明や視力障害の原因になります。
- 禁止** 幼児の手の届くところに置かない  
故障やけがの原因になります。
- 禁止** 小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。
- 禁止** 高温環境や低温環境では、直接触らない  
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

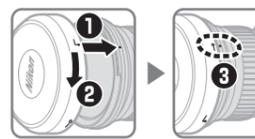
### ⚠ 注意

- 禁止** レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない  
集光して、内部部品の破損や発火の原因になります。
- 禁止** 夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない  
故障や発火の原因になります。

### ■ レンズキャップの取り付け方・取り外し方

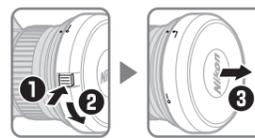
#### 取り付け方

レンズキャップ着脱指標（●）とレンズキャップ取り付け指標（└）を合わせて（①）、レンズキャップを矢印（➡）の方向にカチッと音がするまで回転させてください（②）。



#### 取り外し方

レンズキャップのロック解除ボタンを押さえ（①）、矢印の方向に回転させて（②）、取り外します（③）。

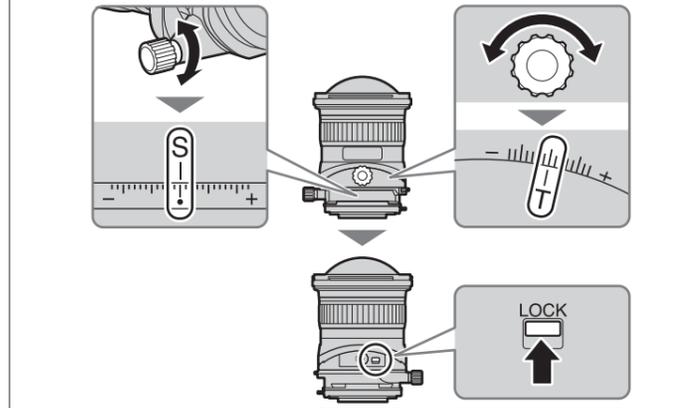


前面のレンズが前枠部より飛び出しています。レンズを保護するために、撮影時以外はレンズキャップを装着してください。



### ■ レンズの取り付け方・取り外し方

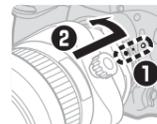
ティルト、シフト、およびレボルピング操作をした状態でカメラに取り付けると、指をさندانけがをする恐れがあります。このレンズをカメラに取り付けるときは、シフトノブとティルトノブを回してシフト目盛とティルト目盛が中央の位置になるようにセットし、ティルトロックスイッチを [LOCK] の方向に動かしてティルトを固定してください。



#### 取り付け方

取り付けの際に指をさندانけがをする恐れがあります。充分ご注意ください。

- ① カメラの電源を OFF にしてボディキャップを外す
- ② レンズの裏ぶたを取り外す
- ③ カメラとレンズのレンズ着脱指標を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回す
  - ・このとき、レンズのレンズ着脱指標が真上にきます。



### 取り外し方

取り外しの際に指をさندانけがをする恐れがあります。充分ご注意ください。

- ① カメラの電源を OFF にする
- ② カメラのレンズ取り外しボタンを押しながら、時計回りにレンズを回して取り外す

### ■ 露出について

シフトおよびティルト操作をすると露出のずれが生じます。シフトおよびティルト操作をしていないときの露出値を目安にして、露出を調整しながら撮影することをおすすめします。

・シフトおよびティルト操作をしていないときは、カメラの自動露出機能を使って適正露出に設定することができます。

### ■ ピントの合わせ方

フォーカスリングを回してピントを合わせます。

- ・シフトおよびティルト操作を行ったあとは、再度ピント合わせを行ってください。
- ・ピントを合わせるときは、カメラのライブビュー機能を使って画像モニターで確認することをおすすめします。
- ・シフトおよびティルトを行うと、フォーカスエイドは正常に作動しません。
- ・距離目盛は、ティルト目盛を中央の位置に合わせたときのみ有効です。

### 被写界深度

- ・被写体の前後のピントが合う範囲（被写界深度）は、カメラのプレビュー（絞り込み）機能を使って確認できます。
- ・距離目盛と距離目盛基準線の両側にある被写界深度目盛を使うと、おおよその被写界深度を知ることができます。
- ・距離目盛は目安であり、被写体までの距離を保証するものではありません。また、遠景撮影でも被写界深度などの影響により∞マークに届かない位置でピントが合う場合があります。

## ■ 操作方法

このレンズでは、レンズを上下左右にスライドさせるシフト、レンズの向きを変えるティルト、レンズを回転させるレボルピング、シフトとティルトの作動方向の関係を変える PC レボルピングの 4 つの操作ができます。それぞれの操作方法は次の通りです。

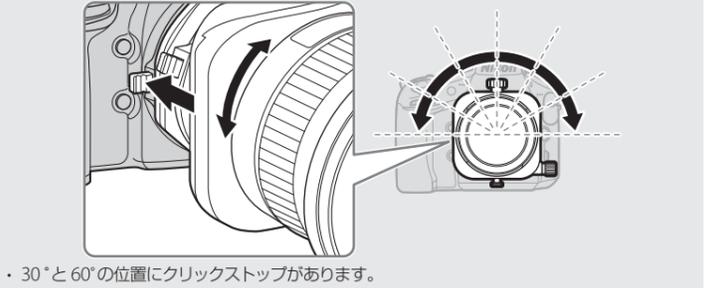
- D5、D4 シリーズ、D3 シリーズ、D810 シリーズ、D500 以外のカメラでは、シフトおよびレボルピングの組み合わせによっては、レンズとカメラボディが接触して操作が制限される場合があります。

### ■ レンズ全体を回転させる（レボルピング）

指をはさんでケガをする恐れがありますので、レンズを回転させるときは充分にご注意ください。

レボルピングレバーをカメラ側に押しながら、レンズの四角い部分を持ってレンズ全体を回転させます。レンズ全体が回転し始めたら、すぐにレボルピングレバーから指を放してください。レボルピングレバーを押ししたまま操作し続けるとレンズのエッジ部でケガをする恐れがあります。レンズは左右に 90°まで回転させることができます。

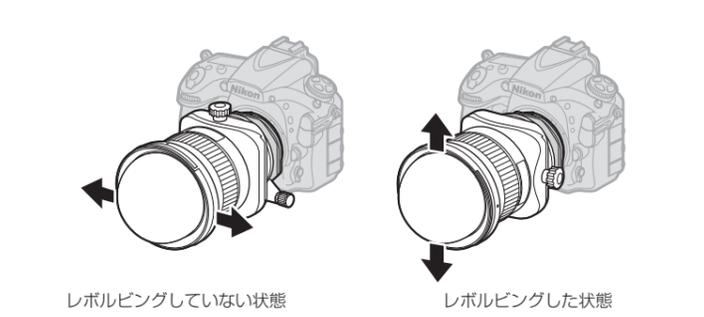
- レボルピングをするときは、シフトおよびティルトをしていない状態にして、ティルトロックスイッチでティルトを固定してから操作してください。



### シフト

操作中にレンズのエッジ部でケガをする恐れがありますので、充分にご注意ください。

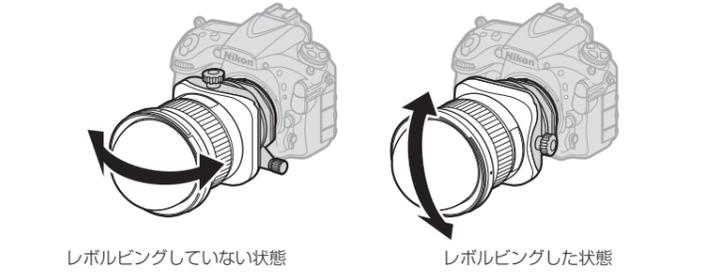
シフトノブを回すと、レンズが左右または上下に平行移動します。



### ティルト

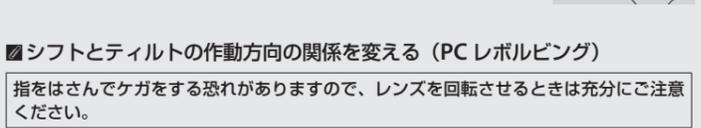
操作中にレンズのエッジ部でケガをする恐れがありますので、充分にご注意ください。

ティルトロックスイッチを **〔LOCK〕** と反対の方向に動かして、ティルトロックノブを矢印と反対方向に回すと、ティルトのロックが解除されます。ロックを解除した状態でティルトノブを回すと、左右または上下にレンズの向きを変えられます。ティルトさせたときは、必ずティルトロックノブを回して固定してください。



### ■ ティルトロックスイッチについて

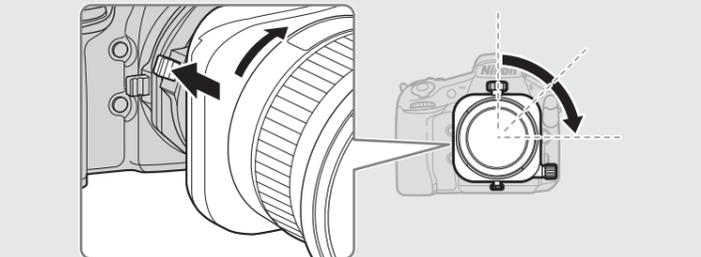
ティルトロックスイッチを使うと、ティルトしていない状態でティルトを固定できます。ティルトをロックするときには、ティルトノブを回してティルト目盛を中央の位置に合わせてから、ティルトロックスイッチを **〔LOCK〕** の方向に動かします。



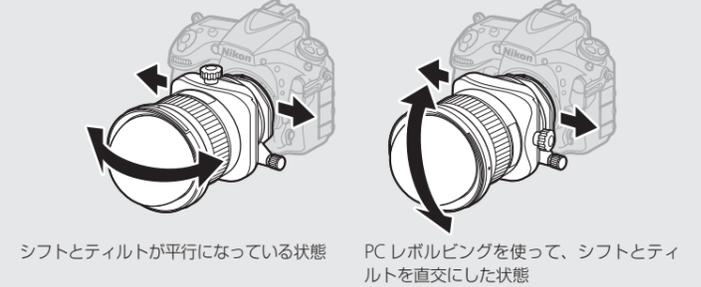
### ■ シフトとティルトの作動方向の関係を変える（PC レボルピング）

指をはさんでケガをする恐れがありますので、レンズを回転させるときは充分にご注意ください。

このレンズでは、シフトとティルトの作動方向を平行から直交に切り換えることができます。PC レボルピングレバーをカメラ側に押しながらレンズの四角い部分を持って左に回すと、ティルト機構部が 90°まで回転します。ティルト機構部が回り始めたら PC レボルピングレバーを放して、任意の位置まで回転させます。



- 45°の位置にクリックストップがあります。



### ■ レンズ操作時のご注意

- 故障の原因となりますので、各ノブやティルトロックノブは、強い力で無理に回さないでください。また、ティルトロックスイッチやティルトロックノブでティルトを固定した状態で、ティルトノブを回さないでください。
- シフトおよびティルト操作を行った場合、条件によってはケラれることがあります（写真の一部に影が写り込む現象）。また、まれに色ムラが出る場合があります。
- シフトおよびティルト操作時にカメラのヴェネットコントロール機能を使うと、適切に補正されない場合があります。ヴェネットコントロールは **〔しない〕** に設定してください。
- シフトおよびティルト操作時に電子先幕シャッターを使うと、むら、すじなどが発生する場合があります。その場合は **〔無効〕** に設定してください。
- 内蔵フラッシュは使用できません。

### ■ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- レンズをカメラから取り外すと、絞りが開放状態になります。レンズ内部を保護するために、レンズを取り外すときはレンズキャップを取り付けてください。
- レンズにレンズキャップを装着した状態で、レンズキャップだけを持たないでください。
- このレンズは可動部分が多く、ゴミやホコリまたは水滴の影響を受けやすいため、使わないときはティルトやシフトをしていない状態にしてから保管してください。
- CPU 信号接点は汚さないようにご注意ください。
- レンズマウントゴムリングが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- レンズ面を清掃する場合、通常はホコ리를払う程度にしてください。
- 最前面のレンズ面はフッ素コート加工されています。乾いた布で軽く拭きだけで、汚れを取り除くことができます。指紋などの汚れがついたときは、柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーでレンズの中心から外周へ渦巻き状に、拭きムラ、拭き残りがないように注意して拭いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布を少量の真水、無水アルコール（エタノール）、または市販のレンズクリーナーで湿らせ、軽く拭き取ってください。フッ素コート加工されたレンズ面は、撥水性、撥油性が高いため、水滴状の拭き残りが生じることがあります。その場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- 最後面（レンズマウント側）のレンズ面に指紋がついたときは、柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーを少量の無水アルコール（エタノール）または市販のレンズクリーナーで湿らせ、レンズの中心から外周へ渦巻き状に、拭きムラ、拭き残りがないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズをケースに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。
- レンズを水にぬらすと、部品がサびつくなどして故障の原因になりますのでご注意ください。

- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

- このレンズは画角が広く、前面のレンズ前枠部から飛び出しているため、フレアやゴーストの原因となる光線の影響を受けることがあります。遮光用のボードなどを使ってレンズに不要な光線が入らないようにすることをおすすめします。

- 極端に温度差のある場所に急にレンズを持ち込むと、レンズ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。レンズをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

### ■ 付属アクセサリ

- かぶせ式レンズキャップ
- 裏ぶた LF-4
- レンズケース CL-1120

### ■ 仕様

型式	ニコン F マウント CPU 内蔵 E タイプ、PC レンズ
焦点距離	19mm
最大口径比	1：4
レンズ構成	13 群 17 枚（ED レンズ 3 枚、非球面レンズ 2 枚、ナノクリスタルコートあり、フッ素コートあり）
画角	97°（FX フォーマットのデジタル一眼レフカメラ）73°（DX フォーマットのデジタル一眼レフカメラ）
ピント合わせ	マニュアルフォーカスのみ
撮影距離目盛	∞～0.25 m
最短撮影距離	撮像面から 0.25 m
絞り羽根枚数	9 枚（円形絞り）
絞り方式	電磁絞りによる自動絞り
絞りの範囲	f/4—32
アオリ機構	シフト、ティルト直交および平行式 シフト量：± 12 mm ティルト量：± 7.5°
レボルピング機構	レボルピング：左右 90°（30°毎にクリックストップ） PC レボルピング：左 90°（45°にクリックストップ）
寸法	約 89 mm（最大径）× 124 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで）
質量	約 885 g

※製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

### ■ ニコンプラザのご案内

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。お客さまのデジタルイメージングの世界を拡げ、写真文化の普及、向上に資するよう目指しています。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

#### ニコンプラザ銀座

〒 104-0061 東京都中央区銀座 7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2 階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日）

#### ニコンプラザ新宿

〒 163-1528 東京都新宿区西新宿 1-6-1 新宿エルタワー 28 階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日）

#### ニコンプラザ名古屋

〒 461-0005 名古屋市東区東桜 1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル 2 階

営業時間：10:30～18:30（日曜日、祝日、年末年始を除く毎日）

#### ニコンプラザ大阪

〒 530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13 階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日）

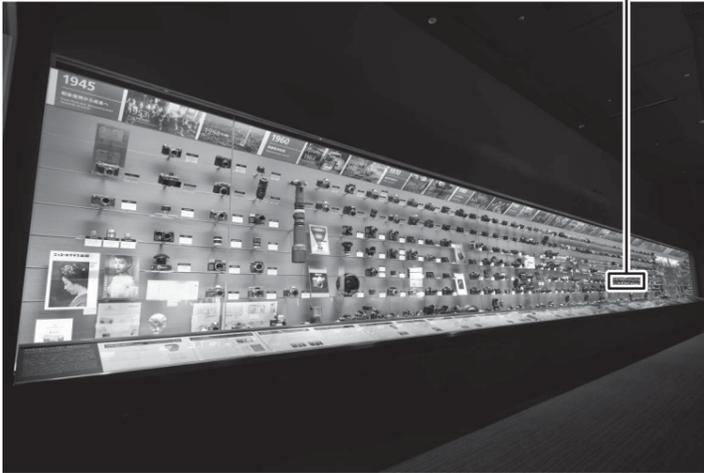
 ニコンプラザショールーム（銀座・新宿・名古屋・大阪）ナビダイヤル **0570-02-8080**

 ニコンプラザサービスセンター（銀座・新宿・名古屋・大阪）ナビダイヤル **0570-02-8060**

音声ガイドンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577（ニコンカスタマーサポートセンター）におかけください。



シフトおよびティルト操作を行わずに撮影した場合



シフト操作後に PC レボルピングを行い、ティルト操作をして撮影した場合